

《企業使命と経営理念》

— 貼る治療文化を世界へ —

「サロンパス®」に代表される経皮鎮痛消炎剤は、「貼る」ことで痛みやコリを治療する医薬品として1934年の発売以来、多くのお客さまにご愛用いただいています。

私たちは、もっと多くのお客さまに「貼って手当てすることの良さをお伝えしたい」「貼って手当てすることに驚きと、安らぎと、感動があることをお伝えしたい」という願いを「サロンパシィ®」(Salonpathy®)という言葉に託し、世界に誇れるTDDS製剤をはじめとする貼付剤の創薬と製剤技術の向上に集中してまいりました。

これからも、「貼って手当てすることの良さを伝える」ことを私たちの企業使命とし、「世界の人々のQOL(クオリティ・オブ・ライフ:生活の質)向上を目指す」ことを経営理念と定め、「貼る治療文化を世界へ」広げてまいります。

CSRの推進

久光製薬の事業活動は、お客さま、地域社会の皆さま、株主・投資家の皆さま、従業員など多くの社会の方々に支えられています。こうした皆さまの信頼こそが、当社が企業としての使命を果たし、持続的に成長を遂げていくための基盤であると考えています。

また、事業活動を継続していくためには、自然環境の安定とそこから得られる環境サービスも重要であると認識しています。久光製薬は、より豊かな社会の発展と地球環境保全のために、国内外の多様なステークホルダーを尊重し、当社に求められる責任と社会貢献に対し誠意をもって活動を推進していきます。

■ CSR 組織

CSR担当役員の下に、社内の各部署から任命された委員で構成するCSR推進委員会を組織しています。当委員会では、活動方針や重点的に取り組むべきCSR課題等を協議し、また、委員を中心としたワーキング・グループを編成して、CSR課題に取り組んでいます。

CSR推進委員会の下に事務局を置き、専任のCSR推進室が委員会の開催調整や各部門での活動推進、情報の収集・配信などの業務を行っています。



■ 重点テーマ

お客さま、お取引先、株主、従業員、地域社会、環境の側面から当社に求められる社会的責任について重要度分析を行い、また、当社が必要と考える社会的責任を評価しました。評価した結果から、ステークホルダーと当社の両方にとって重要と考えられる社会的責任を抽出し、それらの中から、対応が不十分なものについて、CSR活動の重点テーマとして取り上げました。

活動テーマの特定

ISO26000の「関連する行動および期待」を基準に、ステークホルダーにとって重要な課題、当社にとっての重要課題を検証

ステークホルダーと当社の両方に重要な課題を抽出し、その中から対応が不十分な課題を選択

選択した課題を重点テーマとして、CSR活動推進

2014年度活動テーマ

グローバルCSRの推進

海外子会社におけるCSR活動の推進を継続する。各事業所の2015年度事業計画にCSR活動を取り入れ実践する。

二酸化炭素の削減

エネルギー使用の合理化および電気使用の平準化を行い、二酸化炭素の排出抑制に努める。また、輸送時の二酸化炭素排出抑制に取り組む。

生物多様性の保全

生物多様性の保全に影響を及ぼす事業活動を評価し、影響の抑制に努める。積極的な保全活動として、里山などでの竹林伐採と植樹活動を行う。

ステークホルダーエンゲージメント

NPO・市民団体や学生と、社会貢献活動をテーマとしたダイアログを行う。ダイアログで明らかとなった課題を活動に反映させる。

CSR調達の推進

原材料の採取および製造過程を現地調査し、環境への影響、労働状況などの確認を行う。

また、サプライヤーと協働で、CSRの啓発を行う。

公平な雇用の実現

障がい者雇用率の増加に努める。また、障がい者の立場に立った職場環境の改善を推進する。

労働安全衛生の推進

刷新した社内規定に基づき、安全衛生活動を推進する。労災「0」を目指し、リスクアセスメントの実施と、危険箇所の改善に努める。

環境配慮型製品の開発

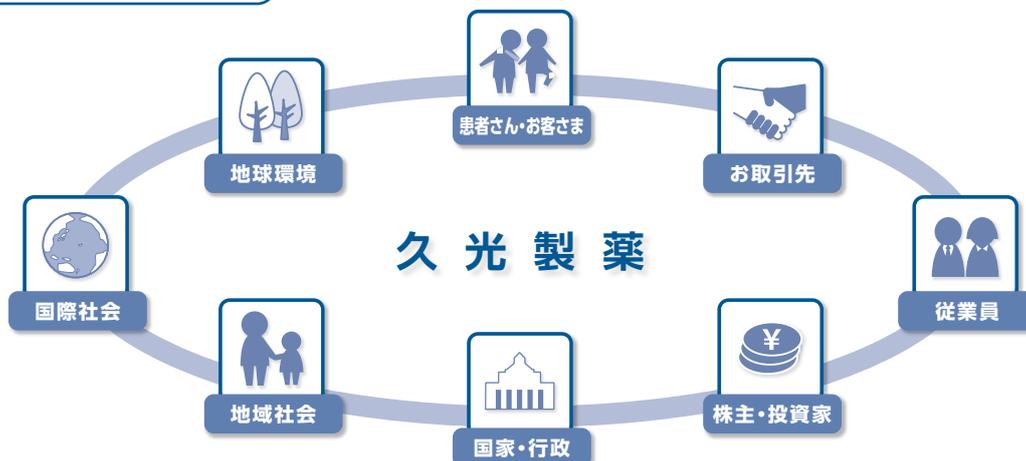
製造過程で使用する溶媒の使用量や処理方法を見直し、環境負荷の低減に努める。また、包装材などの素材を見直し、ライフサイクルを通じた環境負荷低減に取り組む。

ステークホルダー

久光製薬は、単に企業市民としての責任だけでなく、医薬品にかかわる事業を行う組織として大きな社会的責任を持っています。医療関係者や薬事行政当局とのかかわりでは、単なるコミュニケーションにとどまらず特段の配慮と責任が生じます。商品・サービスをご利用いただくお客さまについても、消費者というだけでなく患者さんとしての側面も持っており、信頼が得られる十分な配慮と良好な関係が必要になります。また、社会的基盤である地域社会、国際社会や自然環境に対しても企業市民としての社会的責任があります。

久光製薬は、このような関係と責任を認識し、安心してお使いいただける医薬品の提供を継続することで、ステークホルダーである患者さんのQOLが向上し、すべての地球市民が安心・安全に暮らせるように努めていきます。

多様なステークホルダーとの関係



 <p>患者さん・お客さま</p>	<p>当社が扱う医薬品には、医療用医薬品と一般用医薬品があります。医療用医薬品は、医師をはじめとする医療関係者の処方・投薬のうえで、患者さんがご使用になります。一般用医薬品は、お客さま個人個人が店頭などで商品を選択してご購入いただけます。</p>
 <p>お取引先 (製造にかかわるステークホルダー)</p>	<p>医薬品の製造には、原材料としてさまざまなものが使用されています。国内外から必要な原材料を安定的に入手することが必要であり、さらに間違いのない品質を保つことも重要です。近年においては、生産現場における環境への配慮や労働者の状況などにまで考えをめぐらし、必要な取り組みをするべきものとされています。そういった多様な社会的要請に鑑み、直接のお取引先だけでなく二次・三次のお取引先とも信頼関係を構築することに努めています。</p>
 <p>従業員 (インナーステークホルダー)</p>	<p>従業員は重要なステークホルダーです。製造販売を手掛ける当社においては、さまざまな能力や役割を持った多様な人材を活かして事業活動を行う必要があります。そのためには、雇用にかかわる課題や教育・啓発、福利厚生、さらには従業員の生活基盤にまで配慮したマネジメントが必要です。また、従業員組合との良好な関係構築や派遣など一時雇用者も含めた人事課題、さらには潜在的な従業員であるリクルーターなどにも配慮が必要であると考えています。</p>
 <p>株主・投資家</p>	<p>当社は国内市場に上場し、多くの株主・投資家の皆さまと関係を持っています。適正な利益配分に努め、透明性のある経営に努めることを最低限の義務として取り組んでいます。また、インベスター・リレーションズ(IR:投資家向け広報)を重視し、適正かつタイムリーな情報開示により、当社の経営および事業活動をご理解いただけるようにしています。</p>
 <p>国家・行政</p>	<p>法人として、適切な税の納付は最低限の義務です。また、法規制の遵守も果たすべき活動です。</p>
 <p>地域社会</p>	<p>当社は国内外の多くの拠点で事業活動を行っています。事業を行う周辺の居住者との関係を良好に保つこと、地域社会の一員として、当該地域の発展に努めることなど積極的に取り組む必要があると考えています。また、地域課題の解決にあたっては、当社が持つさまざまな資源を利用して可能な限り協力することが重要です。</p>
 <p>国際社会</p>	<p>社会が抱えるさまざまな課題は、一地域、国だけでは解決不可能な問題もあります。また、経済活動をはじめ、グローバルなコンセンサスが重要となる局面もますます増えてきています。国連をはじめとするさまざまな国際機関との連携を図り、グローバル課題にかかわることも、各国で事業を推進する当社には重要な責務であると考えています。</p>
 <p>地球環境</p>	<p>すべてのステークホルダーにとって生存の前提となるのが地球環境です。生活環境や資源、エネルギーなど地球環境への配慮は最低限の責任であり、将来社会に対する責任でもあります。医薬品業界においては、自然生態系から得られる多くの知見も重要な経営資源であることを認識し、多様な生態系が担保された地球環境を守り、必要な場合は復元に努めることが重要と考えています。</p>

■ ステークホルダーエンゲージメント

久光製薬ほっとハート倶楽部の贈呈式に出席いただいたNPOや市民団体の代表者に、社会貢献に関する課題や当社への要望などについてお伺いしました。(ご意見はP32)

また、報告書に対する第三者意見として、中部大学経営学科の皆さまとも、企業の社会貢献についてダイアログを行いました。(ご意見はP60)



NPOや市民団体の皆さまとのダイアログでは、さまざまなご意見をいただきました。